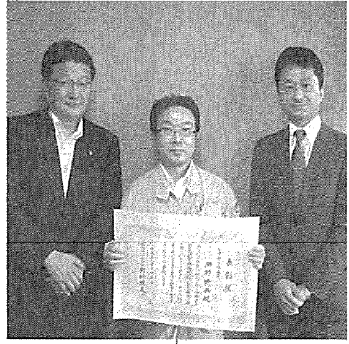


道労働局長安全衛生推進賞受賞

草別組の瀬野氏を訪問

あらためて功績たたえる

署支 基支 小 瀬野氏



表彰状を手にする瀬野氏(中)と小松社長(左)、伊原支署長(右)

会北海道支部俱知安分会安全指導者として活動した実績が認められた。瀬野氏

【俱知安委】小梅芳基署の受賞により、後志管内からは三年連続で受賞者を輩出することとなった。

瀬野氏は、今月五日、札幌市内の京王プラザホテルで挙行された表彰式に出席。引地睦夫局長から表彰状を授与されている。

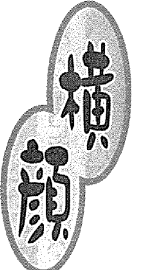
今回、伊原支署長が「あらためて瀬野氏の功績をたたえたい」と同社を訪問し、瀬野氏と同社の小松社長と懇談した。

伊原支署長は、瀬野氏が安全指導者として約十年間、安全衛生水準の向上発展に尽力してきたことを労った上で「引き続き、災害防止活動に取り組んでほしい」と求めた。

瀬野氏は「芳基署の指導や建災防の仲間の協力があつたからこそ、今回の受賞につながったと思う。今後も、建設業全体の無事故・無災害に貢献していきたい」と述べた。

小松社長は「安全指導者として、十年間培ってきたものを広くフィードバックしてもらいたい」とさらなる活躍に期待を寄せた。

安全衛生推進賞は、長年にわたり安全衛生関係の業務に従事し、地域、団体、関係事業場の安全衛生水準の向上発展に多大な貢献をした個人を顕彰するもの。瀬野氏は、平成十九年からことし三月までの約十年間、建設業労働災害防止協



二十九年度安全衛生にかける優秀事業場、団体、功労者に対する道労働局長表彰の安全衛生推進賞を受賞した。芳基署の指導や建災防俱知安分会の仲間の協力があつたからこそ、今回の受賞につながった」と周囲のサポートに感謝する。平成十九年、同分会で安全指導を担うことになってから、約十年間にわたり、労働安全衛生水準の向上発展に従事した。

労働安全衛生の向上に寄与



前建災防道支部俱知安分会安全指導者(兼)草別組(岩内)システム管理室課長

瀬野 優二 氏

自身も一業人としてこれから、「建設業の無事故・無災害に貢献していきたい」と話す。趣味は演劇。岩内町制施行百周年を記念して平成十二年に誕生した地域住民参加型演劇集団・岩内市民劇場に参加し、演者として舞台上上がった経験がある。最近自身で演じることはないが、知人の公演の観覧などで、今でも劇場に足を運ぶ。

せの・ゆうじ

昭和33年3月東京理工専門学校卒業後、同年4月(株)草別組に入社。平成12年土木部土木課長を経て、19年から現職。

昭和33年3月10日生まれ、59歳。仁木町出身。